

平成30年度第2回ボランティア市民活動推進協議会 会議録

1. 開催日時 平成30年10月18日(木) 19時00分から21時20分まで
2. 場 所 市民交流棟 2階 会議室2
3. 出席者 (会 長) 前田 眞
(副会長) 新田 浩介
青木 ルリ、石川 弘幸、大西 裕之、栗田 修平、笹山 久美子、宮崎 憲士
(事務局) 地域振興課 課長 脇 総二、石川 厚志、守屋 伸康、井原 広一
ボランティア市民活動センター 越智 敦子

4. 傍聴者 なし

5. 会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - (1) 市民交流棟について (資料①②)
 - (2) ボランティア市民活動交流会の実施報告について (資料③)
 - (3) 第3次ボランティア市民活動推進計画について
・第3次計画策定協議 (資料④)
・アンケート結果集計表(年度別、クロス) (資料⑤⑥)
・計画策定スケジュール (資料⑦)
 - (4) その他
・ボランティア市民活動研修会の予定について (資料⑧)
・次回会議日程調整 (資料⑨)
4. 閉会

6. 会議録

発言者	発言内容
会長	<p>前田会長挨拶</p> <p>それでは、(1) 市民交流棟について、事務局より願います。</p>
事務局	<p>〔(1) 市民交流棟について、(資料①②) に基づき説明〕</p>
会長	<p>これについて質問はあるか。</p>
委員	<p>明るく、カフェに来ているような雰囲気になっている。</p>
会長	<p>次に、(2) ボランティア市民活動交流会の実施報告について、事務局より説明を願います。</p>
事務局	<p>〔(2) ボランティア市民活動交流会の実施報告について、(資料③) に基づき説明〕</p>
会長	<p>これについて質問はあるか。</p>
委員	<p>昨年度も参加したが、118名の参加というのは、昨年度とはどういった違いがあったのか。</p>
事務局	<p>昨年度と同じぐらいの参加者ではあったが、会場の変更などがあり、イメージとして参加人数は多く感じた。</p>
会長	<p>次に、(3) 第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第1章の説明を事務局より願います。</p>
事務局	<p>〔(3) 第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第1章(資料④)の説明〕</p>
会長	<p>これについて質問はあるか。</p>
委員	<p>無償性を満たさないことによって、何に影響するのか。</p>
会長	<p>無配当という言い方になるが、企業では配当がある。 市民活動の分野では利益を得るための活動ではなく、次の活動の資金につなげるためのものである。 近年では、活動に係る経費は持ち出しではなく、実費分について手当てしてもいいのではないかとの考えがあり、そうすることで活動に参加しやすくなると考えられている。</p>
委員	<p>ボランティア活動をしている団体で、弁当代や交通費を出すケースがある。個人の寄付や販売で活動費を得るなら問題ないと思うが、補助が入るようになると、「交通費や弁当代を出すのはおかしい」等の意見が出る可能性がある。</p>

会長	ボランティアの無償性については、注記があっても良いのではないかと考える。現在、南予地方の豪雨災害で災害ボランティアバスを運行しているが、それは交通費が補助されていることになる。企業がボランティアバスを運行して、その交通費については企業が負担しているといった話である。無償性に限られてしまうと、地域のためになる活動のハードルが高くなる面もあると思う。
委員	「ボランティア活動の4原則」については、特に違和感がないので、それ程こだわる必要はないのではないかと考える。
会長	本文中に緩やかな無償性についての記述もあるので、4原則はこのままでよいか。
委員	(異議なし)
会長	次にボランティア活動と市民活動の定義について意見はないか。
委員	文中に契約といった言葉があるが、契約となると、見方によっては縛られる気になってしまう。
委員	前文に「思い」や「役割」があるため、あくまで契約という言葉ではなく、もう少し柔らかく、わかりやすい言葉に変えるほうが良いと思う。
会長	次に(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第2章の説明を事務局より願います。
事務局	〔(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第2章(資料④)の説明〕
会長	これについて質問はあるか。
委員	全体的に見やすくなっていて良いと思う。ただ、「【3問:企業】現在、貴社では何かボランティア活動に取り組みられていますか。」の問いについて、回答数の少ない「教育・学習支援業」が2社で100%になっていることに違和感がある。
会長	結果の信頼性が低く感じる場合があるため、2社のみを特出して表現するのは控えるべきではないか。
事務局	「活動の取り組みの高い業種」については、建設業の件数が多いが、割合が低いために取り上げられていない。ご指摘を踏まえ再検証したい。
委員	10代のボランティア意識調査について、対象は中高生なのか。
事務局	16歳以上の無作為抽出としているため、その点については不明である。先日、南予地方に災害ボランティアバスの運行を企画し、高校3校に対して災害ボランティアバスの募集を行ったが、10名の定員に対して、高校から10名の定員では選別しきれないといった連絡があり、学生自身の自発的なボランティア活動に対する意欲の高さを感じた。必要な情報を必要な人にどのように提供できるかという点について、非常に大事だと痛感した。

会長	<p>企業とボランティア団体のマッチングを今後どうしていくのか、団体側のニーズと団体側ができること、企業側のニーズと企業側ができることを、整理したうえでマッチングしないと、具体的なマッチングにはならない。</p> <p>いくらマッチングしようと思っても、その点がわからないと、企業側もどう関わっていいのかわからない。その辺りの学習や啓発等が必要であるうえに、その点を含めた情報発信やマッチングを行っていく必要がある。</p> <p>実際にマッチング等を進めていくためのセンターの認知度が低いこともあって、認知度を上げていくことが新たな課題である。</p> <p>その認知度を上げるためにはどうしたらいいのか。単に広報するだけでは効果がないように感じる。</p> <p>アンケート調査に関する要点は、全て書いてあると思うが、もう少しわかりやすく図示するなどして記載することができれば良いのではないか。</p>
事務局	<p>次回までに、課題を明らかにして、わかりやすくして記載し、まとめに反映できるよう検討する。</p>
会長	<p>先に、課題から施策や事業等の流れを作ることによって、わかりやすくなる場合がある。</p> <p>施策の体系は、総合計画にもあるが、課題や方針等を表によって表現している場合がある。そういった表を作ることによって、ストーリーが見えて、それに基づき課題を明確化し、施策を明らかにすることができる。</p>
委員	<p>計画 P16 の企業に対する設問③について、割合の表示よりも、業種の回答数を強調したほうが信頼性もあり見やすくいいのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、計画 P17 の企業に対する設問④については、複数回答であったため、割合を記載していないが、どちらについても割合なしで表示するほうが見やすいと思うので改めたい。</p>
委員	<p>10代のボランティアについて、継続が大事なところだと思っているが、若ければ若いほど、何がやりたいというよりかは、「誰とやりたいのか。」というのが大きな問題だと思う。</p> <p>友達同士だと活発に活動できるが、人数の関係でそれが難しい場合があり、活動中に孤立してしまう可能性がある。10代の人でも何かしらのきっかけがあればボランティア活動に関わることはできると思うが、一緒にボランティア活動をするグループの中で出会った人が魅力的で、仲間になれないとなかなか続けられないと思う。</p> <p>ボランティア活動に関わる際に、年齢差で孤立することがないように、リーダーになるような人を育てておかないと、10代との接点があったとして、どんなに素晴らしい活動内容だと説明しても始めることができないのではないか。</p>
会長	<p>お互いが励まし合える関係や、一緒にボランティアをする楽しさを感じてもらうことは凄く大事なことで、若ければ若いほど仲間意識の傾向は強く感じる。</p> <p>今回のアンケートではなかなか把握できないところではあるが、若い者同士のグループヒアリングやフォローアップ、ボランティアをやってみた感想や達成感などの話し合う機会を作っておくと、それに対する対策や課題が明らかになる。</p> <p>そういった施策を起こすためには、人と人とのつながりや若い人たちのコミュニティを作っていく必要がある。そうしないと持続可能なものにならないということが課題として挙げられる。</p> <p>ボランティアに対する意識や関心が若い人を含めて低い時に、ボランティア研修を行い、アンケート等による検証を行う必要があるのではないかと思う。アンケート等で生の意見を吸い上げ、活動に活かすというフォローアップの丁寧さが、ボランティアの人材育成につながると考えられる。</p>

事務局	<p>今年度から、高校生ボランティア「しこちゅ〜ボラ7（セブン）」を企画し、継続的にセンターの企画運営等を主体的に取り組んでもらう活動をしている。将来的には、若い人たちのボランティアリーダーの育成につなげることができれば良いと思っている。</p> <p>会長からも話があったように、実際に高校生が体験してみた感想などを聞きながら、次の事業にフィードバックする取り組みが出来たら良いと思っている。</p>
会長	<p>次に（3）第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第3章、第4章の説明を事務局より願います。</p>
事務局	<p>〔（3）第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第3章、第4章（資料④）の説明〕</p>
会長	<p>これについて質問はあるか。</p>
委員	<p>文書によってボランティアに関する登録などの案内を行っても、封を開けない場合が考えられる。</p> <p>その点を踏まえると、ハガキのほうがわかりやすいのではないか。</p>
事務局	<p>わかりやすく、誰もが見やすいような情報発信を検討する。</p>
委員	<p>4-2. 方策②きっかけづくりをサポートについて、指標が「ボランティア情報誌を年4回以上発行」とあるが、具体的な取り組みをすることで、指標が達成されるとなるが、具体的な取り組みと指標があっていないように感じる。</p> <p>例えば 4-1. 方策①【新】ボランティア市民活動センターのプロモーションについては、具体的な取り組みをすることで、「ボランティア市民活動センターの認知度25%以上」になると指標が達成となるが、4-2. 方策②きっかけづくりをサポートに関しては、指標と取り組みが合っていないように感じる。</p>
事務局	<p>4-5. 方策⑤元気にパワーアップをサポートについてもそうだが、それぞれの項目に指標を立てようとする、うまく当てはまらない状況である。</p> <p>4-1. 方策①【新】ボランティア市民活動センターのプロモーションにある「ボランティア市民活動センターの認知度25%以上」をどうやってするのが、本来の指標ではないかと思っている。</p>
会長	<p>回数が指標となってしまっているため、ボランティア情報誌の内容が伝わったかどうか、ボランティアの関心が高まったかどうか、成果目標になるべきである。ボランティア情報誌の内容で、何をどう伝えて関心を高めていく等が評価の対象とならなければならない。また、こういった取り組みを積み重ねた結果が見える指標の設定をしなければならない。</p> <p>ボランティア市民活動センターについて、情報発信のみでは認知度は上がらない。皆の役に立っているといった積み重ねがないと認知度が上がっていかないと考えたときに、ボランティア情報誌が役に立ったかどうか非常に大事だと思う。</p> <p>ボランティア市民活動センターの役割がどのように認知されたのか、最後にアンケートを取って検証する、といった話になる。</p> <p>こうやっていく、こういった役割を果たすというような方法にしていかないと、やっただけになってしまう可能性がある。</p> <p>成果目標となる指標を立てることによって、やるべきことがバックアップされる。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおりだと思う。その点については、次回までに指標をわかりやすく、検証しやすいものにできるようにし、指標に向けて事業を多面的にアプローチしていくといったように検討したい。</p>

委員	4-1. 方策①【ボランティア市民活動センターのプロモーション】について、四国中央テレビにおいて5月から放送を開始したボランティア情報「やってみんの」に関して、反響はあるのか。
事務局	視聴したという人は多く、出演してもらった団体について、マッチング等の問い合わせは増えてきているため、効果はあると思っている。 ただ、センターの名前までは周知されていないように感じる。
会長	次に(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第5章の説明を事務局より願います。
事務局	〔(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第5章(資料④)の説明〕
会長	これについて質問はあるか。 (質疑なし)
会長	次に(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画第6章、第7章、第8章の説明を事務局より願います。
事務局	〔(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画6章、第7章、第8章(資料④)の説明〕 第7章の地域コミュニティの活性化については、別に地域コミュニティ基本計画を策定しているので、本計画に記載しなくても良いと思うがご意見をいただきたい。
会長	第7章の地域コミュニティの活性化については、削除としてよろしいか。 (異議なし)
会長	第8章の市民の役割では市民活動についても記載していただきたい。 また、市民、企業、行政の役割があるが、市民と企業がどう関わっていくのか、行政と企業がどう関わっていくのか、単に市民の役割だけでなく、他との関わり方の記載があれば良いのではないか。企業の役割で地域からどういった応援をもらうのか、ボランティア活動からどういった応援をもらうのか、その点も役割の1つとして挙げられるため、その辺りを含めて検討してほしい。
会長	次に(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画策定スケジュールの説明を事務局より願います。
事務局	〔(3)第3次ボランティア市民活動推進計画について、計画策定スケジュール(資料⑦)に基づき説明〕
会長	これについて質問はあるか。 (質疑なし)
会長	次に(4)その他について、ボランティア市民活動研修会の予定について、事務局より説明をお願いする。
事務局	〔(4)その他について、ボランティア市民活動研修会の予定について(資料⑧)に基づき説明〕

会長	これについて質問はあるか。 (質疑なし)
会長	次に(4)その他について、次回会議日程調整について、事務局より説明をお願いする。
事務局	〔(4)その他について、次回会議日程調整(資料⑨)に基づき説明〕
会長	これについて質問はあるか。 (質疑なし)
司会	ではこれにて、平成30年度第2回ボランティア市民活動推進協議会を閉会とする。 閉会